



西郷つんが説明する

令和7年度 当初予算

“ワン”ポイント



CONTENTS

1	当初予算額	3
2	当初予算トピックス	
(1)	子ども・子育て	4
(2)	薩摩川内スマイルアクション50 ～『笑顔』あふれる『集いと循環』のまちづくり～	4
(3)	コミュニティ・市民活動	5
(4)	産業人材確保・移住定住	5
(5)	SDGs・カーボンニュートラル	6
(6)	DX（デジタル・トランスフォーメーション）	6
3	電源立地地域への交付金事業	7
4	使用済核燃料税活用事業	8
5	政策別の主な予算	9
(1)	【コミュニティ・都市経営】共生と多様性で輝くまち …	10
(2)	【市民安全・消防】安全・安心なまち	11
(3)	【保健福祉】健やかに暮らせるまち	12
(4)	【教育】次世代につなぐ教育のまち	13
(5)	【産業・シティセールス】活力と賑わいを生み出すまち…	14
(6)	【建設・水道】社会を支える快適なまち	15
6	ゼロ予算事業（主なもの）	16
—資料—		
7	会計別の予算規模	17
8	歳入予算内訳（一般会計）	18
9	歳出予算の目的別内訳（一般会計）	19
	市民一人当たりでは…	20
10	歳出予算の性質別内訳（一般会計）	21
	予算を家計簿に例えると…	22
11	参考資料（前年度との比較）	
(1)	人件費、職員・会計年度任用職員数	23
(2)	普通建設事業費、維持補修費	23
(3)	市債残高	24
(4)	基金残高	24

1 当初予算額

一般会計

過去最大

5 9 1 億 2 千万円

前年度比 +15億6千万円 (+2.7%)

特別会計

9 会計

2 6 0 億円

前年度比 +1億5千万円
(+0.6%)

公営

企業会計

3 会計

5 9 億 4 千万円

前年度比 +2億5千万円
(+4.4%)

全会計総額

9 1 0 億 6 千万円

前年度比 +19億6千万円(+2.2%)



大型事業や物価高騰の影響もあって『過去最大』の
当初予算額なんだね

2 当初予算トピックス



子ども・子育て

《拡充》子ども医療費給付事業 4億5,645万円（予算概要：P64）

18歳までの子どもの医療費の窓口負担をゼロにします

《新規》赤ちゃんの駅設置促進事業 400万円（予算概要：P56）

民間施設を対象に、授乳室やおむつ交換台の設置に要する費用の一部を助成します

《新規》こども計画策定事業 1,208万円（予算概要：P57）

こどもや子育て当事者などの意見を踏まえ、こども施策に関する計画を策定します

《拡充》不妊・不育治療費助成事業 1,632万円（予算概要：P65）

不妊・不育治療に対する助成を自己負担額の1/2から2/3に拡充します

《拡充》カンガルー・思春期教育事業 83万円（予算概要：P66）

小中学生に対する「いのちの教育」の対象学年を拡充して実施します

《新規》医療相談アプリ導入事業 305万円（予算概要：P65）

子育て世帯が24時間365日医師に相談できる「医療相談アプリ いつでもドクター」を導入します

《拡充》子どもインフルエンザワクチン接種事業 2,191万円（予算概要：P67）

小中学生に対するワクチン接種の助成金を拡充して実施します

《継続》学校給食費補助事業 1億2,742万円（予算概要：P133）

物価高騰に伴う食材費上昇分を引き続き助成します



薩摩川内スマイルアクション50 ～『笑顔』あふれる 『集いと循環』のまちづくり～

《新規》親子スマイルバスツアー事業 172万円（予算概要：P103）

これからの循環経済・産業を生み出す5つの現場である「川内港」「サーキュラーパーク九州」「川内港久見崎みらいゾーン」などへの親子バスツアーを実施します

《拡充》子どもの日フェスタ事業 223万円（予算概要：P142）

少年自然の家で毎年5月5日に開催している「子どもの日フェスタ」において、未就学児や小学生などが喜ぶエア遊具やミニトレインを設置するなど、一部内容を拡充して実施します

《新規》向田公園遊具施設整備事業 4,000万円（予算概要：P122）

向田公園に子どもたちが安心して遊ぶことができる遊具を整備します

《新規》こどもの木育推進事業 177万円（予算概要：P90）

子どもたちの木育を推進するため、市内全ての小学校に対して、地域産材を使用した木製ベンチの配布や、森林の持つ役割や木材の特性などについての学習支援を行います

《継続》薩摩川内音楽祭事業 1,500万円（予算概要：P108）

若手アーティストと市民が一体となった市民参加型の音楽イベントを実施します

《拡充》涼みスポット設置促進事業 61万円

これまで地区コミュニティセンターを対象に34施設に設置している涼みスポットを、民間施設などにも拡大設置します

《新規》ダイバーシティ社会形成推進事業 550万円（予算概要：P29）

多様な人材が互いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現できるように、講演会やSNSなどを活用した広報啓発を行います



安心して子どもを産み育てられるまち
市民が笑顔や活気のあふれるまちを目指すよ

2 当初予算トピックス



コミュニティ・市民活動

【新規】ふるさと納税を活用したコミュニティ協議会支援事業 186万円（予算概要：P28）
ふるさと納税していただいた一部を活用してコミュニティ協議会の活動を支援します

《拡充》自治公民館設置事業補助金（避難所空調設備補助） 400万円（予算概要：P27）
指定避難所で空調設備のない施設に対して設置費用の一部を助成します

《拡充》自治会加入促進ポイント付与事業 100万円
転入者が自治会に新規加入した際に配布するSDGsポイントを増額助成します

《拡充》市民活動支援補助金（スマイル連携コース・スマイル育成コース新設） 90万円
（予算概要：P29）
市民活動ネットワークに登録する複数の団体が連携して事業を実施する際に必要な経費の一部を助成します

《拡充》市民活動情報サイト改修事業 28万円
市民活動団体が活用しやすいサイトにするため改修を行います

【新規】PAZ圏内における集会所の管理手法の選択制導入 107万円
PAZ圏内の集会所の維持管理について、これまで通りの無償貸付と、実費相当額の一部を徴収したうえで市直営とする方法のどちらかを地域の実情に沿ったものを選択できるようにします

（継続）コミュニティセンター建設事業 1億2,000万円（予算概要：P26）
長浜地区コミュニティセンター建設のための造成工事を実施します



産業人材確保・移住定住

（継続）若者就労支援事業（中高生ふるさと就職奨励金） 1,600万円
市内の高校新卒者または市内在住の市外高校新卒者（市内中学校卒業生）などが、市内居住かつ市内の事業所に就職後6か月以上経過した場合、10万円分のSDGsポイントをつんPayで支給します

（継続）奨学金返還支援補助金 1,800万円（予算概要：P25）
大学や短期大学、専門学校等を卒業した方が市内居住かつ市内の事業所に就職した場合に、在学期間に貸与を受けた奨学金等の返還を補助します

《拡充》介護人材確保育成補助金 130万円（予算概要：P50）
無資格の介護助手が介護福祉士の資格を取得した場合に加え、介護職員初任者研修を修了した場合にも拡充して、当該者及び当該者が勤務する介護サービス事業所へ助成します

《拡充》保育士就職支援事業 600万円（予算概要：P58）
保育士、保育教諭の資格を有し、保育所などに新たに就職した方へ、制度を拡充して就職支援金を交付します

【新規】就農者育成拠点施設研修事業 644万円（予算概要：P79）
農業振興のために就農者育成を行う農業公社に研修事業を業務委託します

《拡充》林業就労促進等奨励金 200万円（予算概要：P90）
本市に住所を有し、本市に事務所を有する認定林業事業体と正規雇用契約された方、また県や市主催の研修を受講後、再造林（保育）を専門的に始める方に対して、就労奨励金を交付します

【新規】移住定住情報発信事業 423万円（予算概要：P23）
移住定住に関する情報を周知するチラシの作成や、移住定住サイトデザイン改修、移住者体験モデルの情報発信などを実施します



コミュニティの活性化で世代を超えた人がつながり
充実した支援策で新たな人材確保も目指すよ

2 当初予算トピックス



SDGs・カーボンニュートラル



【新規】サーキュラー都市ブランディングプロジェクト 3,500万円（予算概要：P23）

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向け、サーキュラーエコノミーに関する体験型・体感型の市民向けイベントや、資源循環のためのネットワーク構築活動などを実施します

《拡充》サーキュラー研修事業 426万円（予算概要：P23）

資源循環をテーマとした体験型・参加型の研修プログラムにおいて、新たな体験プログラムを追加し、参加者の拡大や内容を充実します。

《拡充》SDGsチャレンジステップアップ事業 600万円

SDGsの普及啓発、人材育成のために、SNSなどを活用した広報活動やSDGsチャレンジパートナー向けの研修会などを実施します

《拡充》SDGsポイント活用事業 1,767万円（予算概要：P34）

SDGs理念の浸透及び地域内経済循環の創出を実現するため、デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用して、SDGs理念の実現に貢献する様々な取組に参加された方に対して、市内飲食店等で利用可能な「SDGsポイント」の対象事業を拡充して付与します

【新規】カーボンニュートラルセミナー事業 139万円（予算概要：P39）

「薩摩川内市カーボンニュートラル地域戦略」において目標として掲げている温室効果ガス総排出量の削減に向けて、排出量の把握に必要なスキルを習得するためにSDGsチャレンジパートナー事業所向けのセミナーを実施します

【新規】プラスチック資源循環促進法関連事業 1,596万円（予算概要：P39）

ごみ焼却量の削減及びリサイクル率の向上を目指し、更なる資源循環を図るため、プラスチック使用製品（18品目）の分別回収を実施します



DX（デジタル・トランスフォーメーション）

【新規】デジタル郵便システム導入事業 484万円（予算概要：P32）

マイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用して、登録した市民が郵送の代わりにスマホ上の専用アプリで市からの通知を受け取ることができるシステムを導入します

【新規】「（仮称）デジタル広報薩摩川内」ウェブサイト作成事業 742万円

（予算概要：P21）

「広報薩摩川内」の記事を、Web上で閲覧することができるウェブサイト「（仮称）デジタル広報薩摩川内」を構築します

【新規】地域ICTプラットフォーム導入事業 36万円（予算概要：P27）

コミュニティ協議会との情報共有の効率化、コミュニケーションの円滑化を図るため、LINEWORKSのプラットフォームを活用したモデル事業を実施します

【新規】民生委員ICTプラットフォーム導入事業 268万円（予算概要：P41）

民生委員活動における会議資料や各種報告などのデジタル化を図るため、LINEWORKSのプラットフォームを活用したモデル事業を実施します

【新規】教育・保育給付等管理システム導入事業 440万円（予算概要：P57）

教育・保育施設が市とやり取りを行う給付費などの手続きの効率化を図ります

【新規】消防団活動支援アプリ導入事業 396万円（予算概要：P129）

消防団活動の効率化を図るため、出場指令や出場報告書の作成、スケジュール管理がスムーズに行えるアプリを導入します

《拡充》DX人材育成職員研修事業 550万円（予算概要：P34）

行政や地域のDX化を効果的に推進していくため、職員のDX適正を判定したうえで、目的や課題に沿った研修計画を作成し、効率的にDX人材を育成する職員研修を行います



SDGsやデジタル化など新しい動きで市民生活が持続可能で
利便性の高いまちを目指すよ

3 電源立地地域への交付金事業

1 電源立地地域対策交付金

電源地域の自治体で実施される公共用の施設の整備や地域住民の福祉等、利便性向上を推進するために、毎年度交付されている交付金で、本市は、学校教育施設や公園施設、消防施設、保健センターなどの管理運営事業や地区コミュニティ協議会活動支援事業などの事業に活用していますが、令和7年度は新たに排水機場改修事業や給食センター施設設備整備事業などの事業にも活用します。

■ 交付額の推移

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6予定	R7予定
交付額	13.1億円	16.3億円	13.5億円	16.1億円	15.1億円	16.2億円	17.9億円

※令和6年度以降は運転期間延長加算分を含む

➤ 加算される交付金を活用した事業

川内原子力発電所1、2号機の運転期間延長に伴い、稼働後40年を超えることとなり、**それぞれ毎年1億円（20年間）加算**交付されます。

■ 1号機運転延長加算分《1億円/年》20年間（R6～R25）

事業名	事業費	交付金活用額
学校給食費補助事業	1億2,742万円	1億円

■ 2号機運転延長加算分《1億円/年【新規】》20年間（R7～R26）

事業名	事業費	交付金活用額
公園遊具整備事業	4,000万円	3,000万円
川内港背後地北側道路整備事業	1億500万円	7,000万円



学校給食イメージ



インクルーシブ遊具イメージ



川内港背後地道路整備イメージ

※ 活用事業の一覧については、予算概要P14に掲載しています。

2 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金【新規】

川内原子力発電所の運転延長に伴い、県が策定する地域振興計画に基づき国から県に対して交付される25億円のうち、**12億4,100万円**が令和7年度から交付期間内において県から本市に交付されます。（令和7年度交付予定額：3億8,700万円）

➤ 交付金を活用した今後の事業展開

交付金については、新たに設置する「未来のまち創生整備基金」に毎年度積み立て、翌年度以降の事業に活用します。

なお、令和12年度までに、子育て支援事業や道路整備事業などの活用を予定しています。



電源立地地域への交付金は、子育て支援や道路整備など市民の生活に広く役立てられている貴重な財源なんだね！

4 使用済核燃料税活用事業

(1) 使用済核燃料税の活用

使用済核燃料税は、発電用原子炉から取り出した使用済核燃料を、使用済核燃料貯蔵施設または再処理施設に搬出されるまでの間、貯蔵されているものの一部について課税する本市の独自財源で、子育て支援や市民活動、防災・減災事業など広く市民に活用されています。

なお、令和7年度の増収分（約2,000万円）を活用する主な事業は次のとおりです。

事業名	R7予算
【新規】赤ちゃんの駅設置促進補助金	400万円
《拡充》こどもの日フェスタ	223万円
《拡充》カンガルー・思春期教育事業	83万円
《拡充》涼みスポット事業	61万円
《拡充》河川愛護謝金増額分	100万円
《拡充》道路愛護謝金増額分	100万円
【新規】市民活動支援補助金（スマイル連携・育成コース）	90万円
《拡充》空家バンク奨励金増額分	60万円
【新規】避難所空調設置補助	400万円
【新規】消防団活動支援アプリ導入	396万円
【新規】未来共生災害救援マップ導入	22万円

➤ 令和6年度の増収分についても次の事業に引き続き活用します。

事業名
自治会・地区コミ防犯灯電気代補助
テレビ難視聴自主共聴組合運営補助
リサイクル推進員活動費、一般廃棄物集積場整備補助
公設ごみステーションごみ分別指導等事業
生ごみ処理機器購入補助
ふれあい・いきいきサロン活動支援
消防団員報酬の増額

なお、これまで同様、原子力発電所の立地に伴う防災対策、市民の安全安心な生活の確保、環境対策などの様々な事業を実施するための貴重な財源として活用します。

(2) 使用済核燃料税額の実績及び見込み

■ 1体あたり税率の推移

期間	1体あたり税率
H16～H20	23万円
H21～H25	25万円
H26～H30	25万円
R1～R5	27万円
R6～R10	29万円

■ 直近5年間の税額

年度	課税体数	税額
R3	1,901	5億1,327万円
R4	1,938	5億2,326万円
R5	1,978	5億3,406万円
R6	2,076	6億 204万円
R7予定	2,137	6億1,973万円

税額は、4月1日現在で貯蔵されている使用済核燃料の数量に税率を掛けて算出されます。



使用済核燃料税は、市が独自で課税することにより、年間約6億円もの事業に活用できる貴重な財源なんだね！

5 政策別の主な予算

「人が繋がり 人が輝く 安らぎと賑わいのまち 薩摩川内」を目指し、令和7年度から令和16年度までの10年間の総合的な市政運営について定めた「第3次薩摩川内市総合計画」における6つの政策別の予算を掲載します。

1 【コミュニティ・都市経営】共生と多様性で輝くまち

広聴広報を充実させるとともに、多様性のある社会を形成しながら、コミュニティの活動や市民活動の活性化に向けた支援を展開します。

2 【市民安全・消防】安全・安心なまち

住み慣れた地域で安全・安心に住み続けられるように、防災力・消防力を増強するとともに、市民・事業者・行政が連携する体制を構築します。

3 【保健福祉】健やかに暮らせるまち

全ての市民が、地域においてお互いを尊重しあいながら共生して暮らすことのできる体制づくりに取り組みます。

また、健康づくりに対する市民意識の向上のための普及・啓発を進めるとともに、健康で生き生きと安心して暮らし続けられる体制づくりに取り組みます。

さらに、子どもを安心して産み育てることのできる環境整備に取り組みます。

4 【教育】次世代につなぐ教育のまち

学校と地域が連携・協働し、全ての子どもに寄り添い、個性に応じた教育の機会において、自らの可能性を追求できる、誰一人取り残さない学校教育を実現します。

また、文化財等が地域・市民の手で守られ、次世代に継承される環境を整備します。

5 【産業・シティセールス】活力と賑わいを生み出すまち

産業の生産基盤の強化と担い手の育成・確保及び六次産業化の促進により生産力の向上を図るとともに、流通力の向上のための取組を充実させます。

商工業においても、地域の強みや特性を活かした企業の振興や産業の創出に取り組みます。

また、効率的で持続可能な地域公共交通ネットワークの構築や買い物などの生活利便性の維持に取り組みます。

6 【建設・水道】社会を支える快適なまち

防災機能を高めた安心して暮らせる都市機能の整備・保全に取り組みます。

また、広域道路ネットワークを形成し、物流の効率化と新たな人の流れを創出します。

さらに、住民生活や経済活動に不可欠な上・下水道事業を安定的に運営するため、施設等の耐震化、長寿命化と効率的な維持管理に取り組みます。



次のページからは、これら6つの政策ごとに新しく始まる事業や拡充された事業を説明するよ

1 コミュニティ・都市経営

共生と多様性で輝くまち

34事業 22億5,123万円

- ・コミュニティ
- ・生涯学習・市民活動
- ・男女共同参画・ダイバーシティ
- ・少子化対策
- ・SDGs・カーボンニュートラル
- ・広聴広報
- ・行政改革・DX ほか

《拡充》市民活動支援補助金

(スマイル連携コース・スマイル育成コース新設)

90万円

市民活動団体等が実施する公益的活動・事業の補助金（市民活動支援補助金）に新たにボランティア団体間の市民活動の交流・連携を促進するため、市民活動ネットワークに登録する複数の団体が連携し実施する事業、または、人材育成や確保を目的として実施する事業への補助メニューを追加して助成します。

予算概要：P29

事項名：市民活動支援事業費

【新規】ダイバーシティ社会形成推進事業

550万円

全ての人にとって、「DE&I※」があたりまえの文化となるよう意識改革、環境整備の推進を図るため、講演会やSNSなどを活用した広報啓発を行います。

※DE&Iとは、diversity（多様性）、equity（公平性）、inclusion（包括性）の頭文字をとった言葉で公平な機会のもと、多様な人材が互いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現するという概念のこと

予算概要：P29

事項名：男女共同参画政策費

【新規】サーキュラー都市ブランディングプロジェクト

3,500万円

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向け、サーキュラーエコノミーに関する体験型・体感型の市民向けイベントや、資源循環のためのネットワーク構築活動などを実施します。

予算概要：P23

事項名：企画開発費

【新規】デジタル郵便システム導入事業

484万円

マイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用して、登録した市民が郵送の代わりにスマホ上の専用アプリで市からの通知を受け取ることができるシステムを導入します。

予算概要：P32

事項名：文書送達事務事業費



市民活動が活発になってひとが繋がるまちになるといいな

2 市民安全・消防

安全・安心なまち

26事業 14億4,537万円

- ・市民窓口サービス
- ・課税・徴収
- ・環境
- ・防災・原子力安全
- ・交通安全・防犯
- ・消防
- ・消防団（ほか）

【新規】 蘭牟田池ラムサール条約登録

20周年記念事業

656万円

令和7年11月にラムサール条約登録20周年を迎える蘭牟田池の自然環境に関心を寄せ、保全活動や体験活動への参加を促すために、記念イベントの開催や、蘭牟田池の四季を通じた魅力を発信するために動画を作成します。

予算概要：P38

事項名：環境保全対策費

【新規】 カーボンニュートラルセミナー事業

139万円

「薩摩川内市カーボンニュートラル地域戦略」において目標として掲げている温室効果ガス総排出量の削減に向けて、排出量の把握に必要なスキルを習得するためにSDGsチャレンジパートナー事業所向けのセミナーを実施します。

予算概要：P39

事項名：地球温暖化対策費

【新規】 避難情報システム導入事業

22万円

災害時に市民が迅速な避難ができるように、スマートフォンなどでリアルタイムに避難所の情報などを共有できる避難情報システム「災救マップ（未来共生災害救援マップ）」を導入します。

予算概要：P36

事項名：災害予防応急対策費

【新規】 消防団活動支援アプリ導入事業

396万円

消防団の迅速な状況共有や活動環境の向上等を図るため、消防団員への出場指令や出場隊・出場隊員の把握、災害情報・活動情報等の共有、災害や定期点検出場時の報告書作成などを行うことができる消防団活動支援アプリを導入します。

予算概要：P129

事項名：非常備消防一般管理費



災害に負けずみんなが安心して暮らせるまちになるといいな

5 政策別の主な予算

3 保健福祉 健やかに暮らせるまち

97事業 449億5,586万円

- ・健康保健
- ・地域医療
- ・社会福祉・市民相談
- ・障害者福祉
- ・高齢・介護福祉
- ・生活保護
- ・子育て支援・保育 ほか

【新規】（仮称）上甕島診療所整備事業

9億7,568万円

離島医療確保のため、甕島診療所再編方針に基づき、上甕診療所に里診療所及び鹿島診療所を集約した（仮称）上甕島診療所（令和8年度中開業予定）を新設するため、建築工事などを令和8年度にかけて実施します。

予算概要：P69

事項名：一般管理費

《拡充》子ども医療費給付事業

4億5,645万円

子どもの医療費※の窓口負担を令和7年4月からゼロにします。

※対象期間は、18歳に達した日以後最初の3月31日までの間

予算概要：P64

事項名：子ども医療費助成費

《拡充》不妊・不育治療費助成事業

1,632万円

不妊・不育治療を受けている夫婦の経済的な負担を軽減するため、治療にかかった経費を拡充※して助成します。

※拡充内容：自己負担額の1/2助成を2/3助成に拡充

予算概要：P65

事項名：母子保健事業費

【新規】带状疱疹ワクチン定期接種事業

4,607万円

定期接種の対象となった带状疱疹の発症を予防するため、対象者※に対して接種費用の一部を助成します。

※対象者は、65歳（年度末年齢）及び経過措置対象者（70、75、80、85、90、95、100歳及び100歳以上（2025年のみ））

予算概要：P68

事項名：感染症等予防費



子育て世代も高齢者も障害をお持ちの方もみんなが安心して
住み続けられるまちになるといいな

4 教育

次世代につなぐ教育のまち

39事業 18億3,275万円

・学校教育
・教育施設
・社会教育
・文化財

【新規】中央公民館キッズスペース整備事業

53万円

子どもたち（主に就学前の乳幼児）の笑顔を育むため、中央公民館の1階幼児室に、キッズサークルマット、ベンチなどの遊具の設置を行います。

予算概要：P138

事項名：社会教育振興費

【新規】薩摩川内・英国語学研修事業

1,000万円

本市の将来を担う若者の国際交流を通じた語学力向上や国際的視野の伸長などを目的とし、本市内の中学生を夏休み期間中に英国（ロンドン大学サマースクール）へ派遣します。

予算概要：P136

事項名：教育育成費

《拡充》こどもの日フェスタ事業

223万円

自然体験や創作体験などの体験活動ができる少年自然の家で毎年5月5日に開催している「こどもの日フェスタ」において、未就学児や小学生などが喜ぶエア遊具やミニトレインを新たに設置して実施します。

予算概要：P142

事項名：少年自然の家管理費

《拡充》学びの多様化支援事業

1,544万円

学校へ登校できなくなった児童生徒に、仲間とのふれあいの機会を提供し、学習の補充や体験活動を通して、自立心や社会性・人との関わり等の能力を養い、学校へ復帰できるよう指導・援助を行います。

スマイルルームのほかに、新たに校内教育支援センターを3箇所設置します。

予算概要：P136

事項名：学びの多様化支援事業



学校生活の多様性が尊重されるまちになるといいな

5 産業・シティセールス 活力と賑わいを生み出すまち

126事業 40億8,866万円

- ・営農・畜産
- ・林業・漁業
- ・シティセールス
- ・地域経済・中小企業
- ・産業人材確保・移住定住
- ・観光物産
- ・文化・スポーツ ほか

【新規】就農者育成拠点施設研修事業

644万円

農業への理解促進及び農業就業者の確保・育成を図るため、就農者育成拠点施設における主要事業の一つとなる研修事業を農業公社に委託して新たに実施します。

予算概要：P79

事項名：農業公社運営事業費

【新規】林業担い手確保対策事業

168万円

林業事業体への就業の促進及び新たに林業に従事する担い手の育成・確保を図るため、令和7年4月に開校する「かごしま林業大学校」の研修生や研修生のインターンシップを受け入れる林業事業体等に対して支援を行います。

予算概要：P90

事項名：林業振興育成費

《拡充》観光誘客チャレンジイベント支援事業

1,000万円

交流人口及び経済活動の拡大を図るため、新たな観光誘客イベントなどの実施に対して対象イベント数※を拡充して助成します。

※対象イベント数：10イベント（2イベント増加）

予算概要：P109

事項名：旅行誘客事業費

【新規】川内港航路開設に向けた調査事業

150万円

川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備の完成後を見据え、更なる貨物量の拡大のため、川内港航路開設に向けた調査を行います。

予算概要：P105

事項名：川内港振興事業費



人やものの交流が増えて活気にあふれたまちになるといいな

6 建設・水道

社会を支える快適なまち

52事業 46億3,354万円

- ・道路河川港湾
- ・都市計画
- ・土地区画整理
- ・公園緑地
- ・景観・公共サイン
- ・住宅・建築指導・空家
- ・上水道・下水道 ほか

【新規】一般道路整備事業 (川内港背後地北側道路整備)

1億500万円

川内港背後地において、九州電力火力発電所跡地活用の一環として、臨港道路唐浜京泊線から市道港・網津線を結ぶ道路を整備します。

予算概要：P118

事項名：一般道路整備事業費

【新規】向田公園遊具施設整備事業

4,000万円

向田公園の老朽化した施設の改修に合わせて、センノオトとの一体的な利用を図るため、子どもたちが安心して遊ぶことができる遊具を整備します。

予算概要：P122

事項名：公園管理事業費

《拡充》空家利活用促進事業

259万円

空家の有効利用を通して地域活性化を図るため、空家バンクを利用した本市への移住者と空家の所有者に成約奨励金を支給します。

予算概要：P125

事項名：空家政策費

《拡充》危険廃屋解体撤去促進事業

1,972万円

市民が防災、衛生、景観などの生活環境面において安心して生活できるように、市内の施工業者を利用し危険廃屋などを解体撤去する方に対して、その費用の一部を補助します。

予算概要：P125

事項名：空家政策費



市民の生活において生活基盤の維持は欠かせないね

6 ゼロ予算事業（主なもの）



ゼロ予算事業とは、特別な予算を伴うことなく職員一人ひとりが創意工夫や新しい発想のもと知識・資産・情報等を活用し、政策課題の解決や市民サービス向上を目指す取組のことだよ

【新規】地域経済循環創造事業（ローカル10,000プロジェクト）

総務省の地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト）を活用し、西部・東部・甕島エリアの経済対策を実施するため、令和8年度の申請に向けた事業者の公募選定を行います。

【新規】地域活性化起業人事業

総務省の地域活性化起業人制度により、地域活性化を図るための検討を行います。

【新規】移動販売調査事業

地域の生活利便性機能の向上を図るため、移動販売に関するニーズや状況について、調査・情報収集を行います。

（継続）ウォーカブル推進事業

多様な活動が行われ、居心地がよく歩きたくなるまちなかの実現に向けた関係者の連携体制（エリアプラットフォーム）の構築に向けて支援します。

【新規】ふるさと納税動画配信事業

ふるさと納税のPR動画を制作し、市公式YouTube「コネクト！さつませんだい」やその他のSNSを活用して広く情報発信します。

【新規】ふるさと空き家見守りサービス

本市に空き家を管理・所有している遠方の方が、ふるさと納税を活用して、空き家の現状を把握します。
（空き家の状態を建築士が確認し、所有者へ写真等の報告をします。）

【新規】特認校制度事業

本土地域の複式学級のある学校・地域に特認校制度の要望把握を行い、制度設計のうえ、実施校の制度周知・申請受付を行います。

※ ゼロ予算事業（全体分）は、予算概要のP147～P150に掲載

7 会計別の予算規模

(単位:億円、%)

区 分	事業内容	R7予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
① 一般会計		591.2	15.6	2.7%
② 特別会計 計		260.0	1.5	0.6%
温泉給湯事業	温泉の供給や源泉・温泉管の整備、維持管理	0.5	0.1	14.9%
浄化槽事業	公設の浄化槽の維持管理	0.2	0.0	43.1%
天辰第一地区土地区画整理事業	天辰第一地区での土地区画整理事業の実施	1.5	▲ 0.8	▲33.7%
天辰第二地区土地区画整理事業	天辰第二地区での土地区画整理事業の実施	5.7	▲ 0.7	▲11.2%
入来温泉場地区土地区画整理事業	入来温泉場地区での土地区画整理事業の実施	0.7	▲ 0.3	▲28.1%
国民健康保険事業	国民健康保険に加入している方への医療費給付	103.4	▲ 5.0	▲4.6%
国民健康保険直営診療施設勘定	国民健康保険直営診療所の運営、維持管理・施設整備	18.8	7.8	70.6%
介護保険事業	要介護・要支援認定を受けた方への保険給付	112.9	0.3	0.3%
後期高齢者医療事業	75歳以上の方への医療費給付	16.3	0.1	0.5%
合 計 ①+②		851.2	17.1	2.1%

※ 単位表示未満の増減額は、「0.0」と表示



ここがポイント

- 一般会計は、北薩3消防本部指令センター整備事業（△15.5億円）の終了等による減要因のほか、子どものための教育・保育給付事業等の扶助費（＋13.8億円）、定額減税補足給付金事業（＋5.0億円）、人件費（＋4.4億円）、未来のまち創生整備基金積立金（＋3.9億円）や、防災行政無線システム更新事業（＋4.2億円）などの増要因により増加しています。
- 国民健康保険直営診療施設勘定は、甑島診療所再編方針に基づく（仮称）上甑島診療所整備事業（＋6.7億円）や診療所運営費（＋1.0億円）により増加しています。

(単位:億円、%)

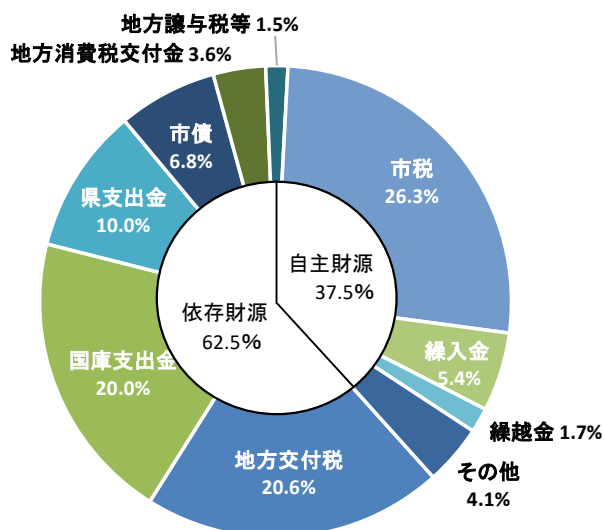
区 分	事業内容	R7予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
企業会計		59.4	2.5	4.4%
水道事業	水道水の供給や水源・水道管の整備、維持管理	30.6	0.7	2.3%
簡易水道事業	水道水の供給や水源・水道管の整備、維持管理(計画給水人口5,000人以下の水道事業)	5.5	0.3	5.4%
下水道事業	汚水の処理や汚水管・雨水渠の整備、維持管理	23.3	1.5	7.0%

※ 企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

8 歳入予算内訳（一般会計）

（単位：億円、％）

項 目	歳入内容	R7予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
① 自主財源	市が自主的に調達できる収入	221.9	3.0	1.4%
市税	納めていただく税金	155.5	6.5	4.4%
繰入金	基金(貯金)の取り崩し	31.8	1.6	5.3%
繰越金	前年度からの繰り越し	10.0	0.0	0.0%
その他	使用料や財産収入など	24.6	▲ 5.1	▲17.3%
② 依存財源	国や県から交付されたり、割当てられる財源や市債(借金)	369.3	12.6	3.5%
譲与税・交付金 交付税等	一定の行政サービスを行えるよう、国から交付されるお金など	151.8	0.4	0.3%
国・県支出金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	177.3	26.5	17.6%
市債	銀行などからの借入れ(借金)	40.2	▲ 14.3	▲26.3%
合 計 ①+②		591.2	15.6	2.7%



約38%が自主財源

自主財源が多いほど、
独自の事業をより多く
行うことができるよ



ここがポイント

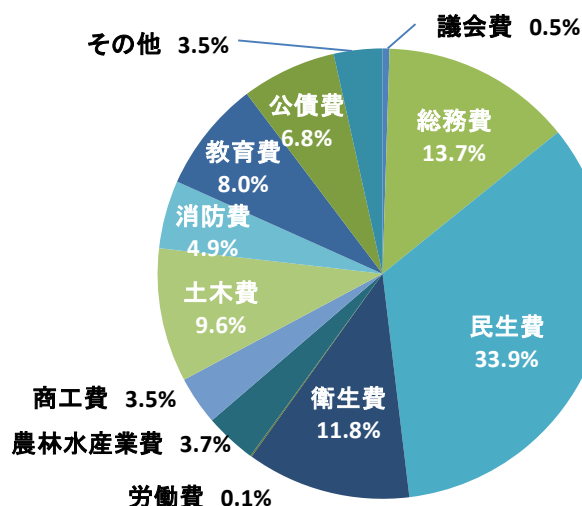
- ・ 市税は、市民税(個人分)や固定資産税(家屋分)の増により
+6.5億円(+4.4%)となっています。
- ・ 国・県支出金は、児童手当や保育所運営に係る経費への支出金の増により
+26.5億円(+17.6%)となっています。
- ・ 市債は、消防防災施設整備事業債(△7.6億円)、コミュニティセンター建設事業債
(△5.4億円)等の減により△14.3億円(△26.3%)となっています。

9 歳出予算の目的別内訳（一般会計）

（単位：億円、％）

項 目	歳出内容（目的別）	R7予算額	前年度比 （増減額）	前年度比 （増減率）
議会費	議員の報酬や議会運営などに使う経費	3.1	0.2	4.7%
総務費	庁舎管理、財政管理、市税の賦課徴収など、市役所の全般的な仕事に使う経費	81.3	0.3	0.3%
民生費	子ども、高齢者などの支援や、生活保護などに使う経費	200.2	22.0	12.4%
衛生費	医療やごみなどの一般廃棄物収集処理などに使う経費	69.9	1.0	1.5%
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに使う経費	0.4	0.1	13.1%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに使う経費	21.9	3.0	16.1%
商工費	商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などに使う経費	20.8	▲ 1.1	▲ 5.0%
土木費	道路、河川、住宅、公園など、公共施設の整備や維持管理に使う経費	57.0	0.7	1.3%
消防費	火災、風水害、地震等の災害から、市民を守るための経費	28.9	▲ 8.7	▲ 23.1%
教育費	学校の管理、生涯学習、文化財保護など、教育行政に使う経費	47.2	0.9	1.9%
公債費	事業を行うために、国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金	39.9	▲ 3.1	▲ 7.2%
その他	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金など	20.6	0.3	1.6%
合 計		591.2	15.6	2.7%

※単位表示未満の増減額は「0.0」と表示



予算額が多い方から、
民生費、総務費、衛生費、
土木費、教育費の順に
なっているよ

※単位表示未満の構成比率は「0.0%」と表示



ここがポイント

- ・ 民生費は、保育所運営事業や定額減税補足給付金事業、児童手当支給事業等の増により、+22.0億円（+12.4%）となっています。
- ・ 農林水産業費は、畜産クラスター事業や永田排水機場改修事業等の増により、+3.0億円（+16.1%）となっています。
- ・ 消防費は、北薩3消防本部指令センター整備事業の減により、△8.7億円（△23.1%）となっています。
- ・ 公債費は、市債の償還元金の減により、△3.1億円（△7.2%）となっています。

市民一人当たりでは・・・



薩摩川内市の一般会計予算591億2千万円を
市民一人当たりに換算してみたよ

市民一人当たりの予算額 653,007円

薩摩川内市の人口（令和7年1月1日現在） 90,535人

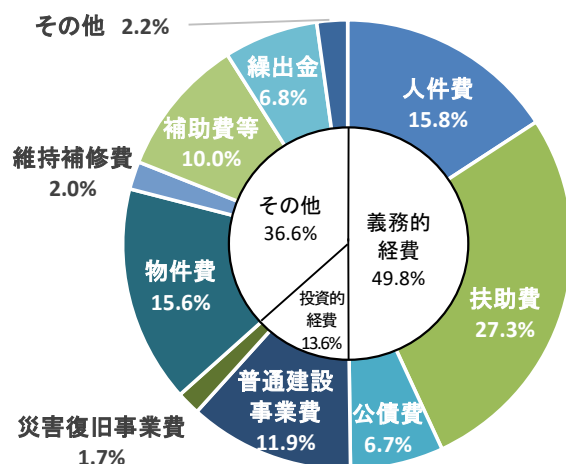
項 目	内 容	一人当たり	割合
民生費	福祉・子育てなど	221,369円	33.9%
衛生費	健康づくり・衛生管理など	77,055円	11.8%
総務費	庁舎管理など	89,462円	13.7%
土木費	道路や河川整備など	62,689円	9.6%
公債費	借金の返済	44,405円	6.8%
教育費	学校教育など	52,241円	8.0%
消防費	消防・救急活動など	31,997円	4.9%
農林水産業費	農林水産業振興など	24,161円	3.7%
商工費	商工・観光振興など	22,855円	3.5%
議会費	議会運営など	3,265円	0.5%
労働費	雇用促進・失業対策など	653円	0.1%
その他	災害復旧・予備費など	22,855円	3.5%
合 計		653,007円	100.0%

10 歳出予算の性質別内訳（一般会計）

（単位：億円、％）

項目	歳出内容（性質別）	R7予算額	前年度比 （増減額）	前年度比 （増減率）
① 義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費	294.5	20.2	7.4%
人件費	職員の給料などに使う経費	93.5	4.4	4.9%
扶助費	児童福祉費、障害者支援費などの、福祉や医療に使う経費	161.1	18.9	13.3%
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金	39.9	▲ 3.1	▲ 7.2%
② 投資的経費	支出効果が資本形成に向けられ、施設等、将来に形が残るものに対する経費	80.5	▲ 12.5	▲ 13.5%
普通建設事業費	道路、学校などの建設や大規模改修など、都市基盤の整備にかかる費用	70.3	▲ 11.8	▲ 14.4%
災害復旧事業費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に係る経費	10.2	▲ 0.7	▲ 6.2%
③ その他の経費		216.2	7.9	3.8%
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料など	92.0	2.7	3.1%
維持補修費	施設の修繕等に使う経費	11.7	▲ 0.1	▲ 1.2%
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など	59.4	0.3	0.5%
繰出金	特別会計の収入を補うための経費	40.0	0.6	1.6%
その他	基金（貯金）への積立金や各水道事業に対する出資金など	13.1	4.4	50.7%
合 計 ①+②+③		591.2	15.6	2.7%

※ 単位表示未満の増減額は、「0.0」と表示



約50%が義務的経費

必ず支出しなければならない
義務的経費が約半分を占めて
いるよ



ここがポイント

- ・ 義務的経費は、人件費、扶助費の増により、
+20.2億円(+7.4%)となっています。
- ・ 投資的経費は、普通建設事業費、災害復旧事業費の減により、
△12.5億円(△13.5%)となっています。
- ・ その他の経費は、自治体システム標準化事業等の物件費や未来のまち創生整備基金新設等の積立金等の増により、+7.9億円(+3.8%)となっています。

予算を家計簿に例えると・・・



薩摩川内市の一般会計予算591億2千万円を、1ヶ月当たり40万円（年収480万円）の家計に例えてみたよ

収入

家計簿の区分	実際の歳入予算の区分	家計の収入	割合
給料	市税	104,000円	26.0%
パート収入	負担金・使用料・諸収入・財産収入・寄附金など	17,000円	4.3%
親・兄弟からの援助	地方交付税・国県支出金・各種交付金など	223,000円	55.8%
預金の引き出し	繰入金	22,000円	5.4%
ローン	市債	27,000円	6.8%
繰越金	繰越金	7,000円	1.7%
合 計		400,000円	100.0%

支出

家計簿の区分	実際の歳出予算の区分	家計の支出	割合
食費・光熱水費・日用品費などの日常生活費	人件費・物件費	126,000円	31.5%
ローン返済	公債費	27,000円	6.8%
医療費・保育料	扶助費	109,000円	27.3%
子どもへ仕送り	繰出金	27,000円	6.7%
電化製品購入・家の増改築修繕	普通建設事業費・災害復旧事業費	54,000円	13.5%
保険料・自治会費など	補助費等	40,000円	10.0%
電化製品の修繕	維持補修費	8,000円	2.0%
預金	積立金など	9,000円	2.2%
合 計		400,000円	100.0%

1 1 参考資料（前年度との比較）

（１） 人件費、職員・会計年度任用職員数

■一般会計当初予算額(性質別)

(単位: 億円)

区 分	R6	R7	増減
人 件 費	89.2	93.5	4.3

■全会計の職員数と月額会計年度任用職員数

(単位: 人)

区 分	R6	R7	増減
職員数(再任用職員含む) + 月額会計年度任用職員数	1,539	1,534	▲ 5



人件費は、令和6年度の人事院勧告により給与等が増加しています
職員数は、職員・月額会計年度任用職員が減少しています

（２） 普通建設事業費、維持補修費

■一般会計当初予算額

(単位: 億円、%)

区 分	R6	R7	増減
普通建設事業費	82.2 (87.4)	70.3 (85.7)	▲ 11.9
維持補修費	11.9 (12.6)	11.7 (14.3)	▲ 0.2
合 計	94.1	82.0	▲ 12.1

※ 表の下段括弧内は、合計額に対する各経費の割合である。



普通建設事業費は、可愛地区コミュニティセンター整備事業、北薩3消防本部指令センター整備事業などが減少しています

(3) 市債残高

■年度末市債残高

(単位: 億円)

区 分	R6 (3月補正後)	R7	増減
一 般 会 計	343.8	345.8	2.0
全 会 計	470.0	479.1	9.1

市民一人当たりでは？



市債残高（借金）は、
必要な事業を実施するため
市債の借入れが増え、
増加しています

(単位: 円)

区 分	R6 (3月補正後)	R7	増減
一 般 会 計	375,565	381,952	6,387
全 会 計	513,426	529,188	15,762

(4) 基金残高

■年度末基金残高(一般会計)

(単位: 億円)

区 分	R6 (3月補正後)	R7	増減
財 政 調 整 基 金	80.2	67.7	▲ 12.5
減 債 基 金	13.9	12.4	▲ 1.5
そ の 他 基 金	65.5	57.7	▲ 7.8
基 金 合 計	159.6	137.8	▲ 21.8

市民一人当たりでは？



基金（貯金）残高は、
必要な事業を実施するため
基金を取り崩したため、
減少しています

(単位: 円)

区 分	R6 (3月補正後)	R7	増減
基 金 合 計	174,346	152,206	▲ 22,140

【参考】 各年の1月1日現在の住民基本台帳人口

(単位: 人)

区 分	R6	R7	増減
住民基本台帳人口	91,542	90,535	▲ 1,007